

## 1. 人口動態・就業状況データ

- **人口：753.6万人**（2023年年央値）
  - 2022年中央値より19.0万人増加。  
（コロナ規制も終わり離港していた欧米人の一部が戻り、また中国本土からの流入（約3.1万人）もあり増加。）
  - 65歳以上の比率は2021年19.6%⇒2023年21.7%に上昇。  
（日本の2000年代半ばと同水準）
- **労働人口：380万人**（2024年1～24年3月）
- **失業率：3.0%**（2024年1～24年3月）
  - 労働人口は前年同期比より3.1万人増加も、引き続き人材不足が継続。
  - 低失業率を維持。失業者数は11.2万人。

## 2. 経済・貿易・投資関連データ

- **GDP：3,835億 米ドル**（2023年：香港貿易発展局出典）
  - コロナ規制も終わり、前年比+3.2%成長であったが、当初政府予想3.5～5.5%を下回るものであった。今年の政府予想は2.5%～3.5%。
- **一人当たりGDP：50,889 米ドル**（2023年）
- **貿易額**（2023年）
  - **輸出：5,430億 米ドル**（1位:中国、2位:米国、日本は7位）
  - 香港地場製品の輸出額は全体の0.1%程度で、殆どが中国本土産品を中心とする再輸出。
- **投資額（残高）**（2022年）
  - **輸出⇒日：167億 米ドル**（香港の対外直接投資先の順位は1位：中国、2位:ヴァージン諸島、日本は10位）
  - **日⇒香：316億 米ドル**（香港の対内直接投資元の順位は1位：ヴァージン諸島、2位:中国、日本は9位）
- **輸入：6,038億 米ドル**（1位:中国、2位:台湾、日本は5位）

## 3. 香港経済の特徴

- **一国二制度**
  - コモンローに基づいた比較的透明な法制度
  - オープンな自由主義・資本主義経済
  - 中国本土から独立した金融・財政政策
  - 独自通貨としての香港ドルの流通（1米ドル=7.75～7.85香港ドルを許容変動幅とするドル・ペッグ制の採用）
- **低税率**
  - 法人税16.5%、所得税15%（標準税率）
  - 消費税、配当税、キャピタルゲイン課税、相続税、関税なし（高アルコール度数の酒類やタバコなど一部品目には物品税が課される）
- **効率的な政府**
  - 行政手続きが簡易かつ迅速
  - 社会保障等の規模が最低限（法人負担コストが低い）
- **国際金融センター**
  - 世界各国の銀行、証券会社、保険会社等が拠点を設置
  - 香港証券取引所は世界有数の時価総額を有する
  - 国際的な専門人材が豊富
- **中国系企業の台頭等**
  - 従来英国系・華人系財閥に加え、香港進出の中国本土系企業が増加（特に2010年代半ば以降は幅広い分野で急増）
  - 週末や休日に広東省深圳等を訪問する香港人が増加